



学力向上プロジェクト

校長 土田 志津子

めっきり涼しくなり、虫たちの声がにぎやかさを増しているこの頃です。校門の桜の木の葉が色づき初めザクロもかわいい実を付けています。子ども達は、虫に負けない元気な声を上げ、グラウンドで野球をしたりサッカーをしたりしています。中庭では、トンボやコオロギを捕まえる低学年の子ども達の姿も見られます。教室では、文化祭の絵画展に向けた作品づくりに熱が入ってきました。子ども達一人一人が、自分の絵に満足するように、しっかり指導していきたいと思えます。

さて、「学力向上プロジェクト」をご存知でしょうか。

4年前に、紫雲寺地区の子ども達の学力を向上させようと立ち上げた組織です。紫雲寺小学校、米子小学校、藤塚小学校、そして、紫雲寺中学校の4校の教職員で推進しています。

3小学校の殆どの子ども達は、卒業すると紫雲寺中学校へ進学します。進学して同じ教室で学ぶとき、3校から来た子ども達が、同じ学習規律が身に付いていたり家庭学習習慣が付いていたりできれば、中学校生活にスムーズに移行できます。そこで、4校が足並み揃えて同じ学習規律に取り組み、家庭学習も目標を同じにして、同時期に強調週間を設けています。【地区研修部】

また、4校で共通に実施しているNRT（学力調査テスト）や全国学力学習状況調査、Web配信集計システム問題の結果などを分析し、それぞれの弱点を、4校の子ども達の課題としてとらえ、その改善策を、各校で、毎日の授業に取り入れています。【調査・研究部】

さらに、学校医の先生方やPTAの代表の方にも協力していただきフォーラムを実施しています。今年度は、県立教育センター指導主事脇川恭子先生から「大人が支える子どもの学力向上のためのポイント」と題したテーマで講演会を行いました。【フォーラム部】

そして最後は、これらの活動を保護者や地域の方々に知っていただきご支援やご協力をお願いする便りを発行する活動をしています。【広報部】

概略でしたが、分かっていたでしょうか。4校の教職員が連携して、そして、保護者や地域のみなさまのご支援をいただいて、紫雲寺地区の子ども達の学力アップに努めていきます。

10月になり、今年度も半分を過ぎようとしています。先日、今年度予定したことは、しっかり取り組み、成果を出すことを再確認したところです。そこで、次のような取組を今後実施しますので、保護者のみなさまや地域のみなさまからも、子ども達に声をかけていただけたらありがたいです。

1 学習規律の定着・・・「学習用具の準備」「チャイム着席」「しっかり聞く」の3つができる子に。

毎月初めの1週間を、定着強調週間に設定し、取り組ませます。教師も、教室で子ども達がチャイム着席できるように声かけをしていきます！

2 家庭学習の習慣化・・・「学年×10分間」「テレビ・ゲームを消して」をできる子に。

2学期の強調週間は、11月4日（月）～11日（日）に予定しています。今からできるよう、ご家庭でも声かけをしていただけるとありがたいです。

「サインはV」（できることを増やす）になるよう教職員みんなで頑張ります。